

おはよ



兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）

神戸市中央区北長挾通5丁目2-10

兵庫県高等学校教職員組合会館内

TEL (078) 341-6745

障教組ブログ展開中！



全職員版 NO.5 2021.7.27

2022年4月から特支に新しい「校務支援システム」導入

個別の教育支援計画

個別の指導計画

様式的全県統一ってどうなの？

今、検討されているのは、学籍系（指導要録等）、保健系（健康診断表等）、教務系（成績処理、出欠管理等）を広く統合してデジタル管理するシステムです。高校にはすでに整備されています。教務系の「成績処理」にあてはまるのが「個別の教育支援計画・指導計画」です。現在は各校で

工夫を凝らして作成・活用されているものを、今後は統一した様式で管理する方向を県教委は考えていることがわかりました。障教組は7月14日に特別支援教育課と折衝を持ち、気になる点についてやりとりしました。

スケジュール

2021年6～8月 入札

2021年9月～10月 サーバー等環境構築

2021年11月 導入説明会の実施

2022年4月 運用開始

この件は、7月中旬に校長会に話されています。そこでは、「個別の教育支援計画」の統一様式案が参考資料として提案されています。

特別支援教育課は「個別の教育支援計画・指導計画」について、「生徒の転校や教員の異動の折に、違いが大きいので混乱や戸惑いがあるという声をよく聞く。統一することで教務事務が円滑に進み、負担が軽減される」と説明されました。果たしてそうでしょうか。それでよいのでしょうか。



現在、各校で様式が違うのは、それぞれ障害種で大事にしたい視点があること、その地域のサポートシステムや関係機関との連携の違いがあることなど、様々な要因があります。つまり各校で、生徒や保護者にとって支援に有効に活用されるものを工夫して作り、改良を重ねてこられたはずですが、統一するメリットが大きいとは考えられません。県はまず「指導計画」に先だって、「教育支援計画」の統一から目指そうとしています。多々ありますが、それもまた問題です。多くの学校で「指導計画」は「支援計画」や「移行支援計画」とリンクするような様式を工夫して、一体となって機能するように工夫されているからです。このままでは混乱は避けられず、新しいシステム導入に際して、また機器のトラブルも予想され、教員の負担が減るとはとても思えません。障教組は現場の声をよく聞いてほしい、子どもの話をするという一番大事な時間が持てるような職場環境を整備してほしいと要望しました。あなたはどう思いますか？